

①経営課題1～5において取り組んだ内容は、総合的に見て、めざすべき将来像の実現に有効であったと思いますか？

経営課題1：自助・共助を担う地域力と、にぎわいのある元気なまち

4. 思う

- ・ 昨年の災害があったためか、防災・減災が取り上げられることが多く、課題解決のために活発に議論を行ったため。
- ・ 区民まつりの見直し。

3. やや思う

- ・ 「できていない」や「もっとこうする」といった反省が多い。頑張っているがまだ届かないといったところ。
- ・ 共助についての理解が弱い。自助→公助の発想が多い。
- ・ 魅力発信の継続で少しずつでも周知いただくことの重要性。
- ・ 地域行事などを通して交流はできているが、課題解決に向けた新しい活動をするのは難しい。
- ・ コミュニティの活性化は地域主体で進められると思うが、行政の連携でさらに活性化が進むと思われる。
- ・ まだまだ自主性に頼るところが多い。
- ・ 課題へ取り組もうとする姿勢は感じられるが、実際にはまだ取組めていないものが多い。また、取り組み始めたところで結果が見えていない。これからだと思う。
- ・ 地域で子ども食堂、学習室、サマーフェスティバルなどいろいろ、行政の力をお借りしながら開催することができている。魅力発見プロジェクトも順調に進んでいる。
- ・ 区民まつりの内容が変更になり、これまでの良かった点も活かしながら発展していけばいいと思います。
- ・ 地域の担い手、区政会議委員、地活、区役所、ボランティアとも活発に動いていたと思う。
- ・ 区職員の方々はかなり頑張っていると思います。ただ、聞きに来られない方や訪庁しないの方々へのアプローチに苦勞していると思われます。関連事業については、組織の横のつながり（情報等共有）が必要だと思います。

2. あまり思わない

- ・ 昨年大阪を襲った地震や台風で自助・共助が話題になったが、「だからどうする？」というような議論までは至っていないのが現状である。
- ・ 東淀川は貧困家庭が多いと思います。まだまだ行政が試行錯誤して手を差し伸べているが孤立している。格差がある。教育においても地域でもっと支援する方法はないものかと思う。
- ・ 豊かなコミュニティが形成されているとは感じられないため。
- ・ 自発的に区民がまちづくりに関われるよう何が必要となってくるか、議論が必要。
- ・ 各地域で手が足りていない。
- ・ 予算を削減しているのに元気なまちは無理でしょう。

経営課題2：こども・青少年の健全育成に地域が一体となって取り組んでいるまち

4. 思う

- ・少子化の時代、子どもの重要性が必要と思えるから。
- ・子ども達の問題等については、本当に問題を抱えている世帯の情報は少なく（保護者が表面に出さないため、情報が入りにくい）、学力の低下や非行問題については非常に難しい状況と思います。小・中学校の児童や生徒が1日中食事が満足にできない世帯も！

3. やや思う

- ・中学生ともっと関わる。
- ・様々なサポート事業があるにも関わらず、知らない方が多いので、発信をもっとしていければと思います。学力向上が課題。
- ・自尊感情の向上の取組みは成果が上がっている。居場所づくりの支援、登校・登園サポートが課題。子どもの学力向上や支援が必要だが、できていない大人へのアプローチについて考えていく必要がある。
- ・地域全体で子どもを守り、支援することで、経営課題1のコミュニティ活性化にもつながると思う。
- ・地域コミュニティには少しは溶け込んでいるが、子育て世帯の支援は入りにくい。部会のこともある。
- ・実際は子どもが育つ環境。
- ・課題が多く、地域活動の中でも継続的な取組みが難しい。ただ、必要性も大きく、充実をめざさないといけないと思う。
- ・地域で子どもたちの居場所づくりの活動も充実してきている。
- ・地域の方がとても力を入れて、子育てサロンや通学の見守り等に取り組んでおられるのをよく目にしています。すでに活動されている方以外の方が主体的に当活動に参加できる仕組みがあればいいと思います。

2. あまり思わない

- ・児童虐待のニュースが毎日のようにニュースで取り上げられているが、地域全体で子どもを守るような状態にはなっていない。今後良くなっていくことを願うばかりです。
- ・学校と役所との連絡があまり取れていないような気がする。
- ・地域、各家庭の協力があってこそできるのでは。
- ・「子育て」ほど子どもが主人公、主体性を持つのはまだまだ難しい感がある。

経営課題3：福祉と健康にみんなで取り組むまち

4. 思う

- ・市民目線で行っている。
- ・百歳体操など住民の通う場や町会などで、特に高齢者の見守り意識が向上している。
- ・地域の精神疾患治療継続、医療の問題でもあるが、新たな課題。
- ・誰もが健康で安全・安心に暮らせるまちづくりには、地域・行政・学校・医療・施設等の各機関の連携が大切であることを改めて認識しました。

3. やや思う

- ・地域の集会所は健康な高齢者のものであり、車いす等を使うようになると、建物自体に拒否される。
- ・それぞれの地域性に沿った事業があり、活発に行われていると感じます。
- ・区民の自主性が重要になり、支援を受ける側の積極性に頼っている。
- ・課題への取組みは他の課題より進んでいるように感じる。ただ、新たな取り組みや新しい対象者への情報発信がもっと必要だと思う。
- ・委員に専門職が多いと感じました。住民の方からのご意見をもっと聞かせていただき、話し合いができればと思いました。
- ・福祉の関係者が多い部会だったので、専門的意見も多く、区行政としても良い方向にあると感じた。なお、今後の更なる高齢化を思うと今のままでは厳しくなるとも感じた。福祉事業者等に関わる方々へのケアが今後は重要になると感じました。その課題も考えていただきたい。

2. あまり思わない

- ・問題定義はできているが、社会全体としても課題が多すぎるため難しい。
- ・少子高齢化に向かっていく中、今後ますます大きな問題として今の子どもたちにふりかかってくる問題である。経営課題1と2とも密接に関係していて今後の議論が必要だと思う。
- ・障がい者に対して関心は低いと感じます。

1. 思わない

- ・地域で「声かけ」「見守り」「支え合い」「助け合い」の現実をたくさん紹介していただき、担い手各位の熱意と活動実績に心からリスペクトした。そのうえで乳児から高齢者、障がい者までが満足する地域コミュニティの確立の難しさ、現状把握の不足を痛感した。

経営課題4：安全・安心のまち

4. 思う

- ・見える化活動を行っていること。
- ・各地域での取り組みをよく行っていると感じる。
- ・青パトや地域の見守り当番など活動が街に浸透していた感がある。

3. やや思う

- ・具体的な策があがっているため。
- ・4年間（2期）に渡り、安全・安心について区政会議委員として色々と意見をしてきましたが、警察署生活安全課との合同のキャンペーンや寸劇等が多く開催され、犯罪減少の役に立っていると感じる。一方、特殊詐欺の被害は大きくなり、新しい区政運営が必要とも感じる。
- ・生活するうえでは、一番身近な問題なので、地域でもっとお話しできればいい。
- ・東淀川区はまだいい治安だと思う。
- ・地域住民が自主的主体的に参画がない状態。
- ・昨年起きた台風や地震について意識が高まっている今だからこそ、発信も含め取り組み強化が必要。

- ・災害や犯罪が身近になり、関心も深まりいろいろな取り組みも見える。ただ、まだ取り組みはじめて、内容の充実なり、情報発信なり、これからだと思う。
- ・大阪経済大学とタイアップした取り組みは楽しいとの感想を聞いています。大学だけでなく、高校、中学等とも一緒に取り組んでいければと感じます。
- ・昨年の災害を通じて都市の弱さを実感しました。避難所を4回開設し、共助ありきになっている感を強く感じました。(区政部会協議の意見交換含め) 自助が基本であることをもっと広報周知し、その勉強会含め、区民に伝えてほしい。また、女性等弱者への犯罪は減少していないので、周知広報の強化が必要。

2. あまり思わない

- ・予算を。

0. 不明

- ・昨年の災害の影響もあり、地域住民が自然に防災を意識し、様々な分野において防災・減災活動を進めることができた。

経営課題5：区民の役に立つ区役所があるまち

4. 思う

- ・災害発生時の対応や地域防災の取組にご協力・ご支援いただき、ありがとうございました。
- ・やってくれていると思う。
- ・SNSでの発信や催し物が昨年比で急増し、活動の活発さを実感した。今後もさらに増加していけるとともに窓口の明確化・発信にも努めていただきたい。

3. やや思う

- ・区役所の職員もグループを作って、各地活協の会合等に顔を出したりして実際どんなことを区民は心配してるのか聞いてみればどうかと思う。
- ・区役所の努力はまだ目に見える形で感じることができていないと考えたため。
- ・情報発信についてはここ1、2年でネット配信(SNS等)はかなり強化された印象です。区役所の取組みについて知り得る機会は増えたものの「住民参画」に寄与したかといえはわからない。
- ・熱心にお仕事に取り組んでおられる方が多いと感じます。LINEを使った広報、いつも拝見しています。登録者を増やす工夫がこれから必要ですね。
- ・情報共有を他行政(警察、消防等)(他市)とも行って区民に周知する方法を再度考えてほしい。また、窓口以外で出来る方法も考えてほしい。広報周知等はSNSやソーシャルネット等の強化がもっと必要であると思う。

2. あまり思わない

- ・まだ窓口等、区民と直接関わるところで課題が多い。
- ・区役所の施設内にもっと文化交流のスペースがほしい。

- ・異動も多く頼れる人がいない。
- ・区役所の施設として改良は感じられる（電光掲示板等）。ただ、実際の窓口での待ち時間の短縮が感じられず、かえって長く感じた。対応する担当者が少ないのか、遅いのか、業務内容と作業時間があっていない。

②東淀川区の経営課題は、区の目標の実現に有効であったと思いますか？

4. 思う

- ・豊新地域での子ども食堂の開設にあたり、アドバイス・サポートを頂きまして、ありがとうございました。
- ・各施策は有効な目標であり、しかしながらその現実には数階層の複雑かつ完遂困難なハードルや壁があることが分かった。今後はこれらを乗り越え、うち破る具体的課題と解決策を継続して進めていていただきたい。

3. やや思う

- ・なかなかすぐには結果が出ない難しい問題であるが、今後も区政会議で何度も同じ内容について議論し意見を出し合って、少しずつ目標に向かっていくしかないと思う。
- ・大人がいいことをしていけば、子どもが見習い、街が良くなる。
- ・職員全体が力を合わせて全力で取り組まれている姿を見ているから。
- ・一体感のある地域とそうでない地域との温度差を埋めることが難しいと感じます。
- ・担当者の方の姿勢は大変よく感じられる。ただ、職員全員が全力で力を合わせて、には疑問を感じる。一部の方の一部分だけの取り組みに感じる。全職員の全力をお願いしたい。
- ・自分の地域では、子どもの見守り、健康で安心・安全に暮らせるまちづくりは進んでいると思う。
- ・各課題ともやや有効であったと思う。今後、縦割りの在り方に横の連携も取り入れた在り方にしていくことが区行政事業の強化や深い意味での課題解決につながると思う。各担当職員同士の情報共有や事業を関連付けしつつ、区民により接した展開を行っていただきたいと思います。

2. あまり思わない

- ・答えがある中でプロセスを作り上げている感がある。会議に来さず工夫もなく、のはいかがなもの。